
難しいことをやさしく、やさしいことを面白く、面白いことを深く探究する

楽しい自作電子回路雑誌

Cirq



CONTENTS

2. 原点 何かあかしいと思いませんか?
2. 佐倉へ QSY してきました
4. QRP パワーメータの周波数特性の改良
7. 素晴らしい MHN ヘンテナ
9. お知らせ
10. 超軽量、3 本目のヘンテナ
11. 読者通信 12. 雑記帖

025

FEB. 2008

佐倉に QSY してきました

2007年11月28日に座間を出発、翌29日に佐倉へ引っ越してきました。

座間での生活が長かったので引っ越しの荷物が多く、知り合いの方々に使えるものや本等を大分貰っていただいたのですがそれでも10トンのロングというトラックに入りきれませんでした。

この11月29日という日は、1964年の11月29日に川崎から座間に引っ越しをした記念の日であり、縁起を担ぐ訳ではありませんが、「大安」でもありません。

佐倉での生活も2ヶ月になり大分なれてきましたがその間に経験した事を披露させていただきます。

寒いですね

「千葉ですか、暖かくて良いですね」と人によくいわれましたが、予想していたのより大分寒い土地である事が分かりました。 周りに林がある関係か湿度も結構あるようです。 その関係が毎日のように霜が降ります。 太陽が出ると、日にあたった所から融けて行きます。

庭に置いてあったプラスチックの箱の中にたまっていた水が凍りましたが、何日かしてその厚さが55mmもあったのには驚かされました。(雑記帖のカット)

予想外といえば、明かり取りのために天窓を2箇所設けたのですが、明かり取りとしては抜群の効果を発揮してくれたのですが、朝方、天窓から水が落ちてきたのです。 はじめは雨漏りかとも思いましたが天気は良いし・・・、良く調べてみると寒さのために結露したものが落ちてきたのでした。

一般の窓にはペアガラスを使っていたので結露はしませんが、天窓は1枚ガラスだったための現象でした。

何かおかしいと思いませんか？

最近の日本、何かおかしいと思いませんか？
例えば、政府の発表では現在、神武景気以上の好景気が続いているというのです。 私にはどうしてもそうは思えません。 確かにえらく景気の良い会社があるようです。

その反面、明日の生活が保証されていない「派遣社員」が沢山居ます。 生活苦で自殺する人

も沢山居ます。 中小企業の倒産も増えています。

75才以上の人達の健康保険を別枠として新たな制度を導入されようとしています。 この問題は若干先送りされましたが無くなった訳ではありません。 この制度が導入されると今の制度で病院の支払が1割であった人が2割、3割になる可能性があります。 しかもこの保険料は年金



から差し引かれるのです。 物価スライド制で年金は少なくなっているのに、年金から差し引かれる介護保険料はだんだん値上がりしています。 高齢者優遇のマル優もなくなり、税金上

の優遇措置も無くなりました。

何か姥捨て山の話のようです。

本来「社会保障のため」とのキャッチフレーズで始まった消費税は、何の事はない法人税引き下げの原資になってしまい、次こそは年金の財源にすると消費

税率引き上げを政府でも口にするようになりました。

今の日本は何かおかしいのです。 あなたはそう思いませんか？ 国会の構造がねじれていますから近い内に総選挙があることは確かです。 そのとき、日本の未来を明るいものにするために皆さんも真剣に行動して下さい。



おいしいものがいっぱい

佐倉はおいしいものが一杯あります。

お酒 「旭鶴」という地酒が甘口なのにべたべたしないで良い味です。同じ醸造元で「佐倉城」と「七福神」という銘柄もありますが中身は同じものようです。これらは佐倉でとれる「ふさのまい」という酒造用のお米 100% で作るまさに「地酒」です。

お味噌 「佐倉はお味噌の産地です」というキャッチフレーズがあります。ヤマニ味噌の「花こうじみそ」という白味噌がおいしいですね。「胚芽米入りみそ」は米麴の量が多く甘味があるので、きゅうりにつけて食べてもおいしいです。その他「菜の花みそ」という赤みそもあります。

うなぎ 残念ながら佐倉産のウナギではありませんが店先で注文してから焼いてくれる鰻やさんがあります。私は「白焼き」したものがあまり好きでないので「じか焼き」を特注します。こんな注文を受けてくれるお店があるのも良いですね。

お魚 佐倉はお魚がうまい。同じ名前の魚でも座間に居たときよりひと味違います。また、今まで食べた事のない近海の魚も沢山あります。

煎餅 佐倉から銚子にかけておいしい煎餅が沢山あります。醤油味があまり強くないサイコ口状のあられ「うれっこ」や「ざらめ」が気に入っています。話題になっている銚子電鉄の「めれ煎餅」も

人気があります。

佐倉に越してきてからおいしいものを沢山食べるようになりました。しかし不思議な事に私も MHN も太らないのです。この秘密は何でしょう？ いまのところ分かりません。

武家屋敷

家のすぐ前に武家屋敷があります。昔の侍の生活を考えると今の私達の生活はずいぶん贅沢ですね。地球温暖化が問題視されている現代、一度参考

にしてみるのも良いと思います。

城址公園は旧佐倉城の跡地にあります。この地方には石が出ないので、お城に付き物のような石垣がありません。天然の山城で空掘り、や土塁で形成されています。江戸方向に開けているので移動運用によさそうです。

太陽電池

ここまでは何だか「雑記帖」のような話になってしまいました。少し CirQ らしい所に戻しましょう。

少しでもエコ生活をしようと太陽電池の実験を始めました。今の所データを取るためだけの実験です。

購入したパネルはシャープの NU-165AT で、定格は 20V,8A 165W です。オープンの際の出力は 26V になります。

これで 12V のバッテリーを充電する訳ですが、そのままではパネルの出力とバッテリーの電圧が合わずうまくありません。そんなときどうするか？

良いものが市販されているのですね。太陽電池用のコントローラです。これを使う事によってバッテリーに都合のよい充電を自動的にやってくれます。

このコントローラは株式会社 未来社

<<http://www.powertite.co.jp>> で発売している POWER TITE というコントローラを手に入れました。

この実験記は次の号で発表させていただきます。

寺子屋シリーズ 069

QRPパワーメーター の周波数特性の改良

JA4DUH 貞弘博明

ネクターのアースをハンダ付けした。

その結果、430MHzより高い周波数においても比較的安定した指示値を示すことがわかったので、これからこの製品を製作される方の参考になればと思い本書を記述した。

少ない手持ちの試験機材を使用していることなので、本書の結果が必ずしも正解とは言い難いが、アマチュア的発想と笑ってお許し有ることを願う。

1. はじめに

50MHz QRPトランシーバー (FM) の制作を思い立ち、30年前の制作途中であったRigをジャンクBOXから取り出し、再挑戦を始めた。

最終調整の段階で、出力を軽便な方法で (アナログ的な) 且つ、ある程度信頼できる計測器で確認するために、QRPパワーメーターが必要となりその制作を思い立ったものの田舎暮らしでは部品の調達が困難なことから、「アマチュア無線応援団 キャリブレーション」のHPで昔懐かしいFCZ研究所の寺子屋シリーズ販売を知り、早速、QRPパワーメーターキットを購入制作した。

懇切丁寧な制作説明書を読んでいく中で、昔先輩から高周波においてアースラインは出来るだけ短くすることが大切と教えられたことを思い出した。

そこで、BNCコネクタと基板を接続しているアースラインワイヤーを取り除き、直接基板のアースとコ

2. 改良箇所と改良方法

改良箇所は、前項で説明した通りBNCコネクタとプリント基板のアースラインである。詳細は下図を参照。

3. 制作後のQRPパワーメーター調整

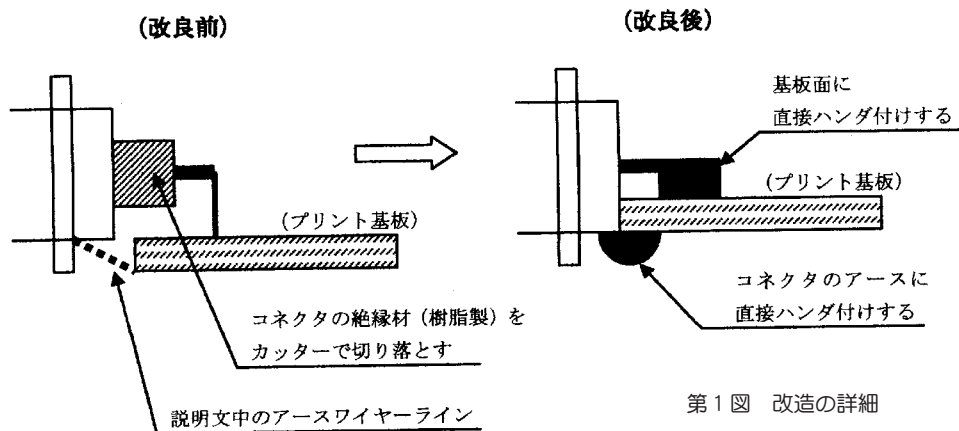
制作が完了したQRPパワーメーターのスケール較正は、S・Gの出力周波数50MHz、出力電力を13dBmに設定し、説明書の記述に従いスケールがその値を示すようにVRで調整した。

S・Gの出力電力は、HPパワーメーターで13dBmであることを事前確認した。

そのときの状況を写真-1と写真-2に示す。

3. 改良前・後の特性比較

前項に記述した図の内容で改良をした結果を以下に記す。



第1図 改造の詳細



写真-1



写真-2

1) 測定に使用した機材

- ・ S・G : HP8657B
- ・ スペアナ : ADVAN R3361B (3.6GHz T・G 内蔵型)。
- ・ パワーメータ : HP 435A (パワーセンサ : 8482 A)
- ・ リターンロスブリッジ :

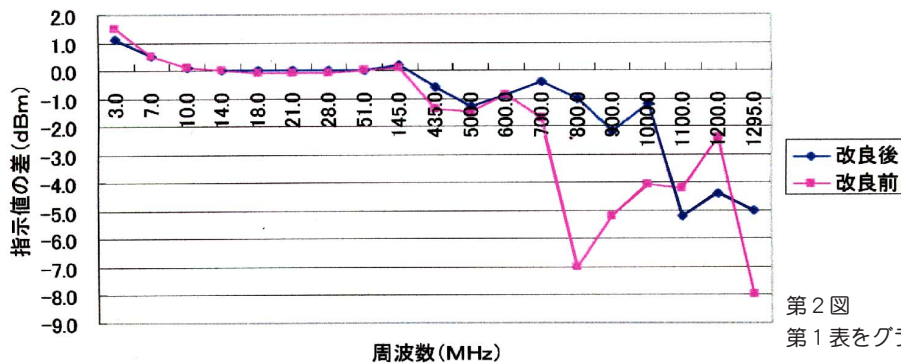
3 ~ 7MHz 自作ブリッジ(CQ出版のトロイダルコア活用百科を参考にしました。
5 ~ 12GHz WILTRON製 60NF50

2) 測定項目

- ・ アマチュア周波数を主に、HPパワーメータとQRPパワーメータの指示値の差。

第1表 指示値の差 (周波数特性)

周波数 (MHz)	3	7	10	14	18	21	28	51
改良前 (dBm)	1.5	0.5	0.1	0	-0.1	-0.1	-0.1	0
改良後 (dBm)	1.1	0.5	0.1	0	0	0	0	0
周波数 (MHz)	145	435	500	600	700	800	900	1G
改良前 (dBm)	-1.4	-1.5	-0.9	-1.7	-7.0	-5.2	-4.1	-4.2
改良後 (dBm)	0.2	-0.6	-1.3	-0.9	-0.4	-1.0	-2.2	-1.2
周波数 (GHz)	1.1	1.2	1.295					
改良前 (dBm)	-4.2	-2.4	-8.0					
改良後 (dBm)	-5.2	-4.4	-5.0					



第2図
第1表をグラフにする

第2表 リターンロスの測定値からVSWRを算出する

周波数 (MHz)	3	7	10	14	18	21	28	51
改良前 (dB)	1.03	1.02	1.03	1.03	1.03	1.04	1.04	1.06
改良後 (dB)	1.04	1.02	1.03	1.03	1.04	1.05	1.05	1.08
周波数 (MHz)	145	435	500	600	700	800	900	1G
改良前 (dB)	1.11	1.22	1.26	1.39	1.80	3.50	1.65	1.59
改良後 (dB)	1.2	1.61	1.67	1.74	1.75	1.66	2.00	1.95
周波数 (GHz)	1.1	1.2	1.295					
改良前 (dB)	2.50	3.55	5.00					
改良後 (dB)	2.00	2.05	2.1					

- ・リターンロスの値から各周波数におけるQRP
パワーメーターのVSWR。

4. 測定結果

①指示値の差 (周波数特性)

S・Gから13 dBmの信号を出して、HPパワーメーターの指示値とQRPパワーメーターの指示値と比較したその差は前ページの第1表の通りであった。また、上記の結果をグラフで表すと前ページの第2図ようになる

②QRPパワーメーターの入力VSWR

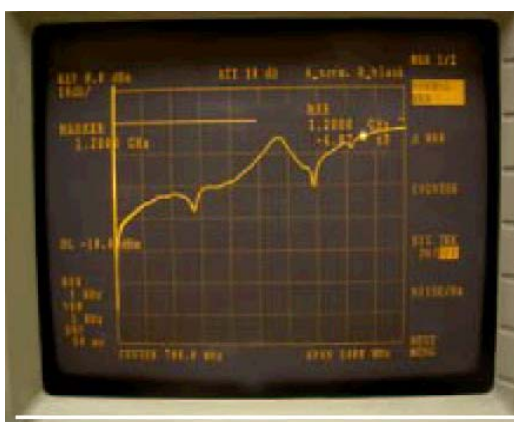
リターンロスの測定値からVSWRを算出すると下記の通りであった。

5. まとめ

測定結果では、改良した効果は1 GHz以上の高い周波数で顕著に現れている。アマチュア的な使用であれば指示値の差を補正値にすれば何とか1.2 GHzでも使用可能ではないかと考えられる。今後、機会があればもう少し改良を加えてみたい。

安価な構成でこのパワーメーターを開発されたFCZ研究所大久保社長と、キャリブレーション児玉社長には敬意を表します。

なお、次ページにリターンロス測定時の波形状態を示します。



改良前の波形



改良後の波形

素晴らしい MHNヘンテナ

430MHz での実験記

JE1OYV 遠山敦雄

チャンス

昨年(2007)、9月の台風でTVのアンテナが倒れてしまいました。チャンス到来。これを屋根の隅にたて直し、空いたスペースに念願のルーフタワーを揚げててっぺんに430MHzの八木を取り付けることに成功しました。次に144MHzはなにを揚げるか。これはもう決めていたのです。

昨年の夏にFCZ-大久保さんからいただいた寸法図のMHNスペシャルです。

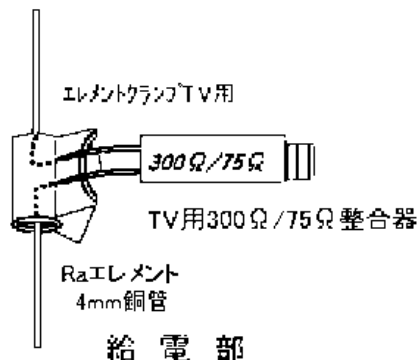
大型は無理な当局の事情から、小さいけどゲインがあること、そしてなによりもTVアンテナとは違うんだぞと自己主張するフォルムがいいじゃないですか。

それで先ず1/3スケールの430MHz用の試作に取り掛かりました。

テレビのメガネトランス

インピーダンス200Ωとありますから、1/4バラントランスが必要です。これにつかったのはテレビの標準付属品の袋に入っていた300Ω/75Ω整合器です。以前144MHzにこのバランの使用例をみたことがありましたが、ハイパワーの昨今、430MHzを含めても聞いたことがありません。実際当局のフルパワー14Wをいれると温かくなってきましたHi。

ブームには洗車ブラシの柄φ22VPを用いました。握りが付いているので今回のような小型アンテナの工作时にはしっかり固定できてFBなのです。エレメントクランプはこれまたTVアンテナから外した黒い樹脂製の2個です。22ミリ用ですからぴったりで、2m用のときにも使えそうです。エレメントはDIY



で買ったφ4の銅パイプを手で曲げてつくります。四隅はカーブになりますから、その分たよこ1センチほど設計寸法よりふっくらしましたが、気にしません。パイプの接続は短く切ったφ3の銅管を差込み、4ミリ管をつき合わせて半田付けする方法です。

完成

完成したので通電してみました。FOXハンティングによる握りを持って振り回すとSWRの下がる方向がありましたから、すく10mHにあげました。八木と並ぶと1/3位のチビです。ここで測定したのがSWRのグラフです。

受信してみますと近くのトラック無線ばかりですが10エレ八木並みに次々と入感してきました。八王子のCQに飛びついて八木との比較レポートをもらいましたら「54 あまりかわらないスヨ」でした。

ウーンチビ君頑張ったねと感激の瞬間でした。(当局QTHは神奈川県座間市です) 比較につかった



のはダイヤモンドの10エシ。軽くて安くて移動派に支持されているロングセラーアンテナです。当局のは金網レフに改造してあります(上図参照)。

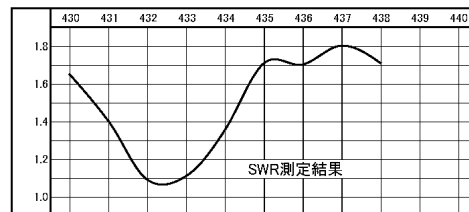
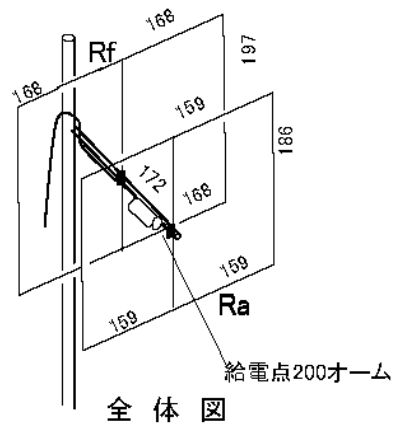
欲が出る

こうなったらディレクターをつけてもっと良くしてやろうと、直ぐに下ろして挑戦してみたのですが・・・

これは完敗。95%ほどのループをつくってそれを近づけたり離したり、Qマッチ100Ω直結50Ωなどいろいろやってみたのですが、マッチングできそうな傾向さえつかめませんでした。

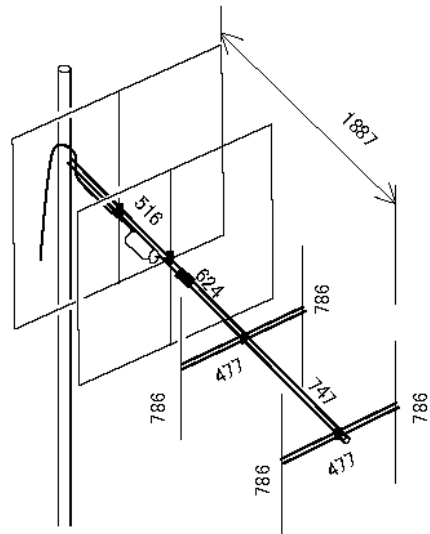
後日FCZさんのアドバイス「そうですか、じつは『ヘンテナⅢ』にね 棒状(線状)導波器を使ったのが載っていますよ」(ヘンテナⅢ、p.76)

そんな訳で2m用にはMHN 4エシをつくって、2月頃には揚げようと思っています。(次ページ参照)



感想

このアンテナは作ってビックリというか、ヘンテナクラブの一員になったなあという満足感が得られる点では、沢山あるヘンテナファミリーのなかで間違いなくトップクラスでしょう。ぜひ皆さんも作ってみましょう。



将来計画 144MHz用MHN4エレ

←筆者近影

お知らせ

購読料

沢山の人達に科学の、電気や通信の面白さを広めようと発行してきたCirQです。ホームページの管理のために皆さんから購読料を頂いていましたが、有限会社FCZ研究所の解散等ありまして個人的な発行に切り替わりました。いろいろと考えましたがこれを機会に購読料を無料にする事にしました。

既に前金として購読料を送金していただいている読者さんには御希望があれば返金させていただきますのでお申し出下さい。

なお、購読料は無料ですが「著作権」は存在します。引用される場合には御注意下さい。また、投稿される方の原稿料は勝手ですが従来通り無料とさせていただきます。

投稿される方に

CirQ では皆さんからの投稿を歓迎致します。

原稿はtext文として編集をされないままメールの文の続きに載せて下さい。編集されたものはこちらで一回、元のtextに変換した後に編集致しますので2度手間になったり、まずいときには編集されたものからtextを引きだせない事があります。

また写真、図面等の画像は jpeg か pict のファイルで原稿に添付して送って下さい。画像1枚のファイルはできるだけ1MB程度に抑えて下さい。

編集の都合により、文面の変更、削除等を行なう事がありますがあらかじめ御承知おき下さい。

FCZ誌バックナンバーのコピーサービス

FCZ誌のバックナンバーのコピーは静岡の川口雅昭さんの御好意によりサービスしていただいていたましたが、この度、川口さんのご都合によりこのサービスは停止させていただく事にしました。

長い年月ボランティア頂きました川口さんに心からお礼申し上げます。

超軽量ヘンテナ追製作レポート

3本目のヘンテナ

JL1KRA 中島潤一

Cir-Q17号の超軽量ヘンテナを追製作しましたので報告いたします。

当局にとっては3本目のヘンテナになります。

1本目は20年前に実家の屋根に竹竿で組んだもの、2本目はその数年後にアルミパイプで移動用に作ったものです。前者は朽ちて家人から苦情が出る迄はそこぶる良いアンテナでしたが、後者はアルミパイプが重たく、組み立ても面倒でその後お蔵入りになっていました。

そのような製作歴もあったので、大久保さんがハムフェアで展示されていた超軽量ヘンテナを見てとても魅力に感じました。

竿はインターネットで3000円程度安売りしていたものを調達できました(硬硬調5.4m、12段継ぎ、収納長さ54cm、182g)。横エレメントをサポートするグラスファイバーは長さ1m、外形4mm、内径3mmのものを東急ハンズで購入し、2分割に加工しました。

テフロンワイヤーはFCZ研究所からご好意で分けて頂きました。

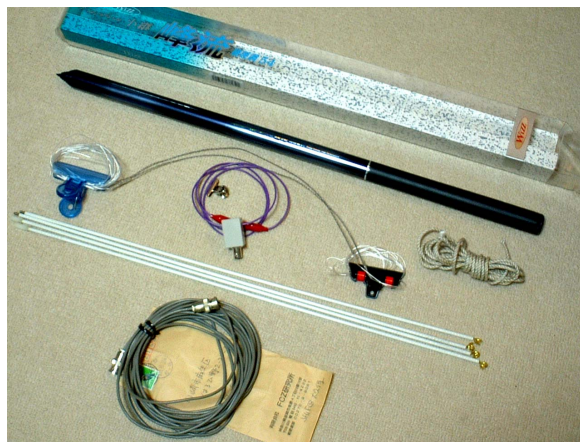
組み立て後、写真1のようにベランダにて実験したところ50.2～50.6MHzの間でSWR=1.2に容易に調整可能でした。またこのアンテナでAMロールコール、SSBのQSOを数局行ってみました。CushcraftのオールバンドGPではRS59/55 (his/my) 程度だったものが57/59程

度のレポートも来るようになり良好です。また軽量化としての成果ですが写真2に示すものとなり、アンテナ本体が270g、同軸が130g(約5m)で、オリジナルの330gと同等です。きゃしゃなアンテナにも思われますが、強風下で一晩放置しても問題はありませんでした。

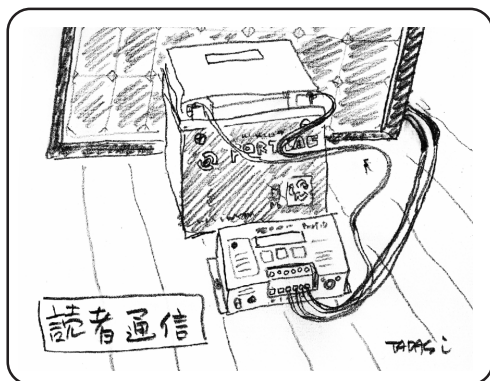
5000円程度の制作費ですが、3本目の超軽量ヘンテナは未永く使えるものになりそうです。重ねてCir-Q誌に感謝いたします。



ベランダに設置した超軽量ヘンテナ



分解した超軽量ヘンテナ



JH1HRP 須藤 貢さん

大変に御無沙汰を致しております。以前は二俣川に住んでいましたが、今、埼玉県春日部市に住んでおります。無線も順々に高い周波数の2.4GHzへも行きましたが、今は10年前の開局時の周波数へに戻って50MHzで、窓からチョイ出しアンテナで、チビット楽しんでおります。

ヘンテナでのイースポに依るQSOは、なかなか楽しいものですネ。

FCZさんの1.2GHzプリンテナ・4パラを部屋の片隅に置いて有ります。その内に、画像でも送って…なんて考えて15年も経って仕舞いました！

FCZさんが佐倉市へ越される事を知りました。法人事業所の解散？ 個人事業へ移行ですか？

30年ほど前その当時、相模原のお店に当方の息子を連れて遊びに行き、奥様に面倒を見て頂いたのが、最近のことの様に思えます。その息子が来月で33歳です！勝手にFCZさんの家の奥まで上がり込んで、今でも申し訳無かったと思っております。

JG1GWL 杉本さん

寝耳に水、というほどではありませんが、「有限会社FCZ研究所」の解散は驚きです。いわば心の拠り所がなくなったということです。

私もクレーを見るために川村美術館に行ったのですが、8月18日でした。大久保さんがお住まいになるところとは夢にも思わず、水もある高台で、ハム向きの土地だと感じたのを覚えています。

お元気で過ごしてください。サンバもハムフェア

もそう遠くない土地だと思いますので、お会いできる機会は多いと思います。

JH4TNX & PH4TNX 岡本さん

尙FCZ研究所解散ということで、寂しい限りです。

1990年頃、週末当時2歳だった息子と一緒に、猫さんのいるお店に行こうと、大和市の自宅から246を走ってさがみまで10分で、部品入手によくお邪魔させていただきました。

FCZコイルには、自作に本当にお世話になりました。11.272MHzのクリスタルフィルタを分けていただき、自作50MHzのQRPリグで埃をかぶっていますが、まだ保管しています。

今、息子は19歳大学生になり、やはり月日の経つのが感じます。今も家族は大和市にすんでおり、私は単身で福島市にQSYしていますが、自作の虫は収まらず、色々といじっては、壊しを繰り返しています。

7年前、オランダ(PA)に住むことがあり、ローカルクラブに、FCZ研究所を紹介したりしました。とても好評でした。初心者に容易に受け入れられる規模の回路というのが重要と、FCZさんの記事を色々参考に、現地で紹介させて頂いたことがあります。

これからも千葉県から活躍されるということで安心してあります。これからの活躍を祈念しております。

JF1XOG 相宗さん

ご無沙汰しております。突然の千葉への転居、びっくりしました。千葉県在住者として、歓迎します。今後ともよろしくお願いします。

来年の3月2日には、JARL千葉県支部のハムの集いを流山で開催します。木下さんには「QRPの楽しみ(未定)」の講演も予定しております。今後ともよろしくお願いします。

JS1BVK/3 山田さん

お引越しなさるんですね。

PSN/SSB送信機(RS-505T)の製作にあたり、毎週日曜日に通ったことが思い出されます。FCZ誌の142号表紙に新築当時のFCZ LABが掲載されていますね。1987年のことですから、もう20年も前のことです。

光陰矢のごとし、を実感させられます。

何事にも最初があれば必ず最後もある、学生時代の恩師の言葉を思い起こしました。

JL1KRA 中島さん

ちょっと驚きましたがタイミングにあわせ有限会社解散のご英断だったとおもいます、長い間お疲れ様でした。個人事業から法人になるものもあり、その逆も又ありだと思います。

いつまでも組織の役員などにしがみつく方もいらっしやいますが、大久保さんのスタイルがとても素敵に思いました。

研究はこれからも続くと思いますのでよろしく願いいたします。

国分寺→サンエイ閉店

川崎→ミズホ工場クローズ

横浜→FCZ 移転

しかし偶然だとは思いますが、狙って私が行く先次々と聖地がなくなっていくます。

JG6DFK/1 児玉さん

「FCZ研究所」が「解散」したと伺って驚きましたが、事業そのものは存続されるとのことで安心しました。

大手は取引先の規模を気にするようですが、地元放送局などと対等に渡り合っている一人親方を個人的に知っていますので、その辺は技量次第なのだろうと思っています。

それはさておき、最近は無沙汰気味とはいえ、年に一度の新年会が楽しみだっただけに、千葉への移転は残念に思います。一応、ここ2年ほど同じ座間市内で仕事をしているのですが...

現状、微力にもなっていませんが、自作の灯を絶やすことのない(=事業に支障が出ない)よう、私なりに努力はしたいと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。

JN1NGC 鈴木さん

ビックリしました。遊びに行くのが遠くなる。Hi 思い出の場所がまた一つなくなっちゃうのかと思うと複雑な心境です。

J13BSB 山本さん

今回の事は、あたり前のことかもしれませんが、月日が確実に流れていることを感じさせます。そして、山田さんと同じように、座間のお店のことを想起しています。初めて行った時のこと、東京在住中何度もお店に行った時のこと、大阪へ帰ってから行ったこと。

座間のお店がなくなることで、私にとっても一つの時代が終わり、かつてのことは確実に歴史になるのだと思います。

こういうと何か、もうお別れのように思う方がおられるかもしれませんが、そうではありません。佐倉へ移られることで、またあたらしい月日がはじまるのではないのでしょうか。

追伸 長年の懸案だった3V動作6mAMトランシーバーがついに完成し、昨日の南大阪A3ロールコールにチェックインしてJA3X00 竹中さんとの交信が成立しました。

JG1EAD 仙波さん

有限会社FCZ研究所の解散は寂しい気持ちでいっぱいです。それはさておき、CirQの前納購読料の扱いについて質問します。

解散に伴い24号は一旦無料との記述は拝見しましたが、残っている購読料の債務はどうなっているのでしょうか。

JK1MWH 今井さん

大変、御無沙汰しております。足が遠のいてから5年が経ちました。6回目の再免許申請を書いているさなかに、この知らせを知り、大変、驚いています。

毎月、FCZ誌を買う以外は、おしゃべりをして帰る、とても顧客とは言えない存在だったと思います。横にパンザマストが建ち、店頭にひょうたんがなっていた頃が昨日の様に思い出されます。

もし、近所にFCZ研究所がなければ、とっくに無線はやめていたでしょう。新しい所での御多幸と御活躍を祈念致します。

JA1NHM 三浦さん

初めて投稿します。FCZ OM ファミリーが佐倉市に QSY されるとのこと 024 号で知りました。千葉県には長島、伊能忠敬くらいしか有名人が居ませんので同じ千葉県人として大歓迎です。よろしく願い申し上げます。FB に御新居の落成をお祈り致します。

姑くは御近所のまわりを色々探訪なさる事でしょう、そのための観光案内です。

これから冬の間モトノムラの田圃に数百羽の白鳥飛来地があります。それから竜神橋と言う所、(御新居)から西 3km ここはチューリップの名所です。東に行き印旗沼の甚平の渡しの一寸先には大桜という千葉県きっての桜の大木が有り一見の価値あります。むろん、佐倉城址公園の桜は見事です。周辺、佐倉の見所は沢山あります。サクラ市とイウくらいですから。NEW QTH の御生活お楽しみ下さい。 72

JG3MVG 井上さん

昨日、OM の FCZ 研究所が解散した事をホームページで知りました。長年御苦労さまでした。

大久保 OM のことは中学時代に BCLCB 無線をかじり、どうにかアマチュア無線が分かるか分からないかと言う頃に知りました。

当時発売されていた「ラジオの製作」を眺めては、50MHz AM 機の自作の楽しみ、ヘンテナの製作、実験にため息ばかり衝いていた事を思い出します。

高校生になって、どうにか開局したときには既に関西では AM 局はほとんどいなく、自作機での交信と言う夢は弾けてしまいました。

その頃でしょうか、FCZ 誌なる物の存在を知ったのは、何分兵庫の片田舎、それが一体どんな物が想像も出来ませんでした。

その後、大学を卒業し、東京で就職した後も「何なんだろう・・・」と思いつけたものです。

ようやく、その存在と内容を知ったのは秋葉原の千石電商で販売されているのを見かけたときでした。それですべての謎がとけました。うれしかったですね。

できるだけバックナンバーを集めて、今でも大切に保管しておあります。もちろん最終回も。あのとき

もそうでしたが、OM の計画性、実行力に感動したものです。(それ以上に残念でした!!)

その後、関ハムやハムフェアでお姿を拝見し、少しお話をさせていただいた感じでは「まだまだ頑張っていて欲しい」と強く思う事がありました。お元気なのは・・・。

今回の解散でまた、活動範囲が小さくなられるのかと思うと本当に残念です。

中学生、高校生のラジオ少年の激減の昨今、OM のような基礎から楽しく教えていただける方が減って行くと言うのは寂しい限りです。是非これからも後進の指導よろしく願います。

本当に長い間有難うございました。

JR3KQF 松永さん

有限会社エフシーゼット研究所が解散との事で困惑しています。

50MHz AM トランシーバーキット配布の準備段階ですが、資金も無く家内から借りた 12 万円からのスタートとなりました。

中国に注文していた水晶が、本日、航空品で届きました。約一ヶ月も待ちました。予定としては、

- ・水晶単品での配布
 - ・簡単なマーカーキットの配布
 - ・50MHz AM トランシーバーキット配布
- などなど企画が一杯。

ここで一番の問題が FCZ コイルです。

先日、大阪のデジットで 07 の 50MHz のコイルを買いました、と言っても 9 個しかなかったです。(H) マーカー用に使用します。今すぐでないのですが、大久保様から 07 S 50 のコイルは購入出来るのでしょうか？ シンセンの部品屋の方に作ると安いと言われたのですが、それは出来ませんと伝えました。

部品が届いた日に有限会社エフシーゼット研究所が解散の報告で非常に寂しいです。

若い方にアマチュア無線を通して作る喜びをプレゼントしたいと思っています。

FCZ から コイルは今まで通り供給して参ります。どうか御心配なく。皆さんに御心配をおかけしました。佐倉にも大分なれました。



連鎖反応

会社を解散するといったらそれまで順調に働いていたポケットコンピュータが突然機能を停止してしまいました。このコンピュータにはいろいろな回路設計の計算ソフトを入れてあったので不便をしてしまいました。

「便利なものは不便の元」ですね。

老いては子に従え

電話回線として光電話を入れたのですが、いくつかの部屋で電話を使いたいと言うので結局、子機の付いた電話機を購入しました。

まずやらなければならない日時の設定でしたが、ここで「エーッ」と言う事に出くわしました。それは親機では設定出来ず、子機で行なうと瞬時に親機に登録されたのです。

人間も年を取ると子供に従え、という事でしょうか。

養生テープ

いろいろなものを固定するのに、「紙テープ」「布テープ」「透明テープ」等を使いますが仕事が終わっていざはがそうとするとテープがこびりついて困る事があります。

そんなときにお勧めが「養生テープ」です。このテープは粘着力が弱いので剥がすとき簡単に剥ぐ事が出来ます。今回の引っ越しで業者さんが使っ

ているのを見て覚えました。粘着力が弱いので強い粘着力が必要なときには向きませんが、移動運用の時など、一時的に同軸ケーブル等を固定したいときには便利なテープです。

大きなホームセンターのテープ売り場、または塗料売り場で手に入れる事が出来ます。

グループ風 8回展

今年もグループ風の展示会を横浜石川町の「ギャルリじん」で2月12日から17日に行ないます。今、CirQの編集とパラランで作品を描いています。FCZは13日と17日には会場にありますので興味のある方は是非おいで下さい。会場はJR石川町南口を出て山に向かって右方向に2分程度歩いた左側です。

コイル屋も大変です

材料のコア類を手に入れるのに苦労しています。有限会社を畳んで少し楽をしようと思ったのですが、なかなかそうはさせてくれません。

もともとコア類は国産品が無くなり中国からの輸入品に頼らざるを得ないのですが、その中国が付加価値の低い材料の輸出をしてくれないのです。と、いって完成したコイルは1ロット、5,000個とか10,000個が要求されます。その場合値段は安くなりますが種類が多いため在庫が莫大なものになりとても対応出来ません。

そこへ原油高の影響から製造原価が引き上げられてきています。今の所、何とかやりくりして小売価格を従来通り維持してはありますがこの努力も時間の問題かも知れません。

表紙の言葉

わが家に薪ストーブが入りました。

石油ストーブと違って局所的な暖かさはありませんが、いつのまにか部屋全体が暖まっているという感じです。

CirQ (サーク) **025号**

購読無料 2008年2月1日発行

発行 JH1FCZ 大久保 忠 285-0016 千葉県佐倉市宮小路町 56-12 TEL.043-309-5738